

- 9月
 - ・田崎草雲の90回忌法要と記念特別展が開催された。
- 11月
 - ・名誉市民故新居善太郎氏の頌徳像が、織姫山山頂に建てられた。
- 12月
 - ・自動血圧計が、市役所市民ホールと保健センターに設置された。

1988年(昭和63年)

- 3月
 - ・小俣町と松田町を結ぶ『猪子トンネル』が開通した。
 - ・デイ・サービスが清明苑(大月町)で開始された。
 - ・岩井分水路に『サイクルランド』を開いた。
 - ・足利競馬場にローラースケート場が完成した。
- 4月
 - ・寝たきり老人などの介護者への激励金支給が始まった。
 - ・中小企業で働く人を対象に北関東初の『足利市勤労者福祉共済会』が発足した。
 - ・渡良瀬河川公園中橋緑地の多目的広場、催し物広場が一部使用開始となった。
 - ・県消費生活センター県南支所の業務が市に移管され、トリコット会館内に消費生活センターが開所した。
 - ・小俣上野田土地区画整理事業が開始された。
- 5月
 - ・通一・三丁目に『からくり時計』が設置された。
 - ・総合運動場の硬式野球場が改修された。
 - ・JR足利駅の開業100年を祝い市民の集いが行われた。
 - ・両毛5市などで組織する『両毛地域東武鉄道沿線開発推進協議会』が発足した。
 - ・オーストラリア・ブリスベンボーイズカレッジチームが来足し、市内の高校選抜とラグビー親善試合を行った。
- 7月
 - ・市に『情報推進協議会』『大学誘致・充実促進協議会』が設置された。
- 9月
 - ◆**食と緑の博覧会『イートピアとちぎ'88』が開催された。**
- 10月
 - ・情報公開制度がスタートした。
 - ・健康・体力づくり事業で、総務庁長官賞を受賞した。
 - ・第10分団の詰所(駒場町)が完成した。
- 11月
 - ・『福寿橋』の工事安全祈願式が行われた。

- ・寺岡町に富田高架橋が開通した。
- ・足利市社会事業協会の設立60周年記念式典が行われた。
- 12月
 - ・史跡足利学校跡の建物復元工事が始まった。

1989年(昭和64年、平成元年)

- 1月
 - ◆**天皇崩御に伴い、年号が昭和から平成に変わった。**
 - ・通一・二丁目の『誇れる街づくり事業』(上半期分)が完成した。
 - ・成人式が各地区ごとに開催された。
 - ・山前小に学校食堂が完成した。
- 3月
 - ・葉鹿跨線橋が開通した。
 - ・足利尊氏ゆかりの『白糸威妻取大鎧』の複製が完成した。
 - ・南幸楽荘に高齢者多目的スポーツ施設が完成した。
 - ・富田公民館が完成した。
 - ・特別養護老人ホーム麗日荘(田中町)に、デイサービスセンターが開館した。
 - ・ニューメディアフェアが開催された。
- 4月
 - ◆**消費税が導入された。**
 - ・土曜閉庁(毎月第2・第4)が始まった。
 - ・消費生活センターがトリコット会館からフェースA内に移転した。
 - ・市民武道館の建設に着手した。
 - ・草雲美術館開館20周年記念式典が行われた。
- 5月
 - ・市制70周年記念事業実行委員会が設置された。
- 6月
 - ・北関東自動車道のルートが公表され、菅田町にインターチェンジの設置が決まった。
 - ・ふるさと創生事業として、市民公募をもとに『尊氏像・孔子像』の設置が決まった。
- 7月
 - ・『足利学校・ばん阿寺参道の街なみ修景』が、国の手づくり郷土賞を受賞した。
 - ・痴呆性老人デイ・ホームわかばが小俣町に開設した。
 - ・迫間湿地シンポジウムが開催された。
- 9月
 - ・消防緊急情報システムの運用を開始した。
- 10月
 - ・旧木村輸出織物工場(現助戸公民館の一部)が県の有

▼平成元年・イトーヨーカ堂での火災訓練。

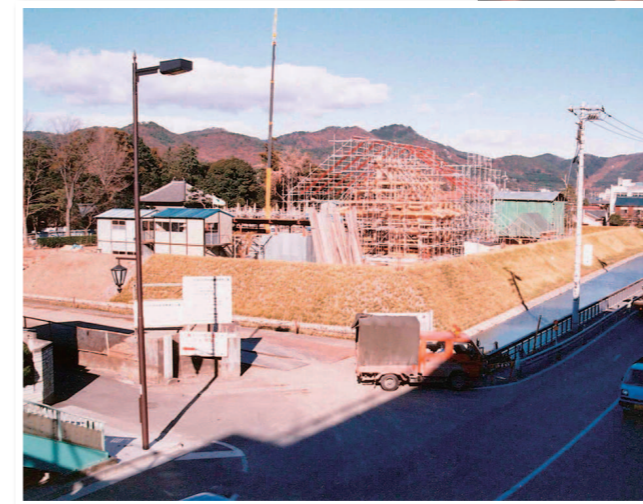


▲平成元年・足利さわやか健康マラソン大会

▶平成元年・足利まつりで賑わう通二丁目付近の様子。



◀▼復元中の足利学校。



形文化財に指定された。

- ・教育委員長に初の女性が就任した。
- ・榊崎八幡宮本殿(榊崎町)が修復された。

11月

- ・済寧市(中国)との友好都市締結5周年を記念し、雑技芸術団の公演や孔府料理賞味会、物産展が開催された。

◆東西ドイツの壁が取り壊された。

12月

- ・(仮称)足利ゴルフ練習場の工事安全祈願祭が行われた。

1990年(平成2年)

1月

- ・渡良瀬橋の改修工事が始まった。
- ・越床トンネルの新設など、国道293号の整備に向けて調査が始まった。

2月

- ・市制70周年記念事業のイメージマスコットに『あゆみくん』が決まった。

3月

- ・平和都市を宣言した。
- ・第12分団の詰所(島田町)が完成した。

4月

- ・市民武道館が完成した。
- ・足利公設卸売市場内に、県内初の『花き市場』がオープンした。
- ・東武足利市駅構内に足利観光案内所を開設した。

5月

- ・市制70周年記念式典を行った。

6月

- ・南公民館を廃止し、矢場川公民館を開館した。
- ・市制70周年を記念して、中橋と鑢阿寺楼門のライトアップを開始した。
- ・地場産センターで開催したイベント『夢広場あしかが'90』で、産業展を開催した。
- ・リフト付きタクシーの運行を開始した。

7月

- ・市制70年・水道創設60周年を記念して水道モニュメント・冷水機5機を市内に設置した。
- ・渡良瀬河川公園中橋緑地が、国の『手づくり郷土賞』を受賞した。

9月

- ・NHK大河ドラマ『太平記』のオープンセットが完成し、撮影が始まった。

- ・ゆとり都市を宣言した。

10月

- ・川崎ゴルフ練習場が開場した。
- ・アメリカ合衆国イリノイ州スプリングフィールド市と姉妹都市を締結した。
- ・生涯学習奨励賞を創設した。
- ・『太平記』オープンセットの一般公開を開始した。

11月

- ・足利学校中興550周年を記念して、『上杉憲実公顕彰碑』を建立した。

12月

- ・史跡足利学校の復元工事が完成、一般公開を開始した。
- ・大日東土地区画整理事業を開始した。

1991年(平成3年)

1月

- ・市民投票で足利百景を選定した(1位は足利花火大会)。
- ・山辺東部土地区画整理事業が竣工した。

◆湾岸戦争がはじまった。

2月

- ・東武鉄道が伊勢崎線に新型車両(200系)を配備した。

3月

- ・第4次足利振興計画中期基本計画を策定した。
- ・八坂第二工業団地の造成が完了した。
- ・ふるさと創生事業で尊氏公像と孔子像を設置した。
- ・第1分団の詰所(緑町一丁目)が完成した。

4月

- ・渡良瀬河川敷に足利渡良瀬ゴルフ場が完成した。

6月

- ・平成5年に開かれる全国高等学校総合体育大会の足利市準備委員会が設立された。

7月

◆歩道の段差解消など、体の不自由な方やお年寄りにやさしいまちづくりが始まった。

8月

- ・通二丁目『中橋ハイツ』の建設工事が始まった。
- ・毛野東部工業団地の造成が完了した。

9月

- ・中学生12人を姉妹都市のアメリカ・スプリングフィールド市へ派遣した。
- ・国民健康保険の加入者で1年間医療機関にかからなかった世帯を健康優良家庭として表彰した。



▲平成2年4月・武道館が完成した。



▲平成2年5月・足利市駅構内に設置された観光案内所。



▶平成3年4月・織姫山から望む街並み。



◀平成4年4月・レンゲ畑で遊ぶ子どもたち。

- 10月
- ・小俣上野田土地区画整理事業が竣工した。
 - ・市民公募による初の足利市民友好訪米団を派遣した。
- 12月
- ・太平記オープンセットの公開が終了した(入場者102万人)。
- ◆ソビエト連邦が解体した。

1992年(平成4年)

- 3月
- ・第8分団の詰所(利保町)が完成した。
- 4月
- ・市民課などの窓口を低いカウンターに改善した。
 - ・新緑橋が完成した。
 - ・65歳以上の方に『いきいきパスポート』を発行した。
 - ・鎌倉市と姉妹都市締結10周年を迎えた。
- 6月
- ・外国人相談(スペイン語、ポルトガル語など)を開始した。
- 7月
- ・足利市国際交流協会が発足した。
 - ・市役所の土曜閉庁が始まった。
- 8月
- ・両毛地区広域都市圏総合整備推進協議会が設立された。
 - ・足利市ごみ問題懇談会が、ごみの減量・資源化のあり方について提言した。
- 10月
- ・行政町名に八幡町一丁目～三丁目、朝倉町二丁目・三丁目が生じた。
 - ・工事中の松田川ダムで定礎式が行われた。
 - ・体力づくり優秀組織として、足利市が内閣総理大臣賞を受賞した。
- 12月
- ・足利市坂西団地水処理センターが完成した。

1993年(平成5年)

- 1月
- ・足利の観光拠点として『太平記館』が開館した。
 - ・足利の夕景を歌った歌手・森高千里さんの『渡良瀬橋』がヒットし、全国的に有名になった。
- ◆EUが発足した。
- 2月
- ・松田町に簡易保険総合レクリエーションセンターの

- 設置が決定された。
- 3月
- ・国道50号の4車線化が完成した。
 - ・中川浄水場が完成した。
- 4月
- ・斎場に式場棟と待合棟を増設した。
 - ・三和公民館が完成した。
- 6月
- ・公害防止に重点をおいた東部クリーンセンターが完成した。
 - ・ごみの減量化・再資源化の推進のため、廃棄物減量等推進員制度を創設した。
- 7月
- ・花火大会が会場を田中橋下流に移して行われた。
- 8月
- ・全国高等学校総合体育大会でレスリング・男子バレーボールが足利市を会場に行われた。
 - ・世界の名器といわれるピアノ『ベーゼンドルファー』を市民プラザに設置した。
 - ・八柵東部土地区画整理事業が開始された。
- 9月
- ・美術館つきの住宅『中橋ハイツ』が完成し、入居を開始した。
 - ・高齢者向け公営住宅『シルバーハウジング』の建設が始まった。
 - ・中学生と市長との対話『ヤングサミット』を行った。
- 10月
- ・消防本部に地震計を設置した。
- 11月
- ・毛野東部工業団地に足利金属団地が完成し、操業が始まった。
 - ・史跡足利学校所蔵品の特別展示を行った。
- 12月
- ・納税推進都市を宣言した。
 - ・第14分団の詰所(久保田町)が完成した。

1994年(平成6年)

- 1月
- ・市立美術館のシンボルに近代フランス彫刻界の巨匠・マイヨールの『着衣のポモナ』を設置した(市民文化財団が寄贈)。
- 2月
- ・足利環状線に新梶川橋が開通した。



▲平成4年7月・通二丁目の七夕飾り。



◀平成5年・コンピューター授業の様子。

・山川町JR両毛線立体交差が完成した。

3月

・福寿大橋と高橋大橋が開通した。

4月

・市立美術館が開館、開館記念特別展を行った。

・田中町の雇用促進住宅の建設が始まった。

5月

・国道293号で、越床トンネルの貫通式が行われた。

7月

・北幸楽荘の建設が始まった。

8月

・125年ぶりに足利学校の庠主に中村元さんが就任した。

・『市長への手紙』を開設した。

・助戸公民館で日曜窓口サービスを開始した。

・山辺西部第一土地区画整理事業を開始した。

9月

・済寧市(中国)と友好都市締結10周年を迎え、記念植樹などが行われた。

10月

・平成6年度都市景観大賞の都市景観100選(建設大臣賞)に『足利学校、鑿阿寺周辺地区』が選定された。

・水処理センターに污泥焼却施設が完成した。

11月

・ひとりぐらし老人のための『緊急通報システム』が始まった。

12月

・いきいきハイツ江川の入居が始まった。

・消防本部に高規格救急車を配置した。

・第18分団の詰所(松田町)が完成した。

1995年(平成7年)

1月

◆阪神・淡路大震災が起こった。

2月

・渡良瀬川横断公共下水道幹線が完成し、通水式を行った。

・小学校に空き缶圧縮機を設置した。

・緑橋右岸西部土地区画整理事業が竣工した。

3月

・公共下水道が南部の一部地域に供用を開始した。

・総合運動場の整備基本計画をまとめた。

4月

・両毛広域都市圏で公共施設の相互利用を開始した。

6月

・交通安全都市を宣言した。

7月

・行政町名に借宿町一丁目誕生した。

・15年ぶりに緑陰図書館が復活した。

9月

・やすらぎハウス(北幸楽荘)が完成した。

・保育所と児童館を併設した梁田児童センターがオープンした。

・(仮)渡良瀬ウォーターパークの整備計画をまとめた。

10月

・生活路線バスの運行を開始した。

・第10回国民文化祭・とちぎ95が開催された。

・堀里ニュータウンの宅地分譲を開始した。

・姉妹都市締結5周年を記念して『スプリングフィールド市ジャズ訪日団』が来訪した。

11月

・松田川ダムが完成した。

・全国孔子廟サミットが開催された。

12月

・第5次足利市振興計画『ニュー足利創造プラン』を策定した。

・中橋通り東沿道型土地区画整理事業が竣工した。

・第19分団(松田)の詰所(松田町)が完成した。

1996年(平成8年)

4月

・空き缶等のポイ捨て防止に関する条例を施行した。

・足利市と佐野市を結ぶ越床トンネルが開通した。

・半透明か透明のごみ袋の使用が義務付けられた。

・足利市エンゼルプラン(緊急保育対策等5カ年事業計画)をまとめた。

・市民ホールコンサートを開始した。

・小中学生を対象に、文化施設と体育施設の無料化を実施した。

・北郷小月谷分校を廃止した。

7月

・まつだ湖畔キャンプ場を開場した。

・簡易保健総合レクリエーションセンター建設予定地に温泉が湧出した。

8月

・第1回両毛地区中学生サミットを開催した。

10月

・ごみの分別方法を3種5分別から5種12分別に変更



◀平成7年・小学校空き缶圧縮機貸与式。



▲平成7年・生活路線バスと乗降客。



◀平成8年・開通した越床トンネル。

▼平成8年10月・天皇后(現上皇太后)両陛下とベルギー国王皇太子が来足した。



▼平成8年・松田町に設置されていた温泉スタンド。



▶平成8年・現在も太平記館で行われている観光八木節の実演の様子。



した。
・天皇皇后(現上皇皇后)両陛下がベルギーのアルベール2世国王(当時)夫妻・皇太子殿下(現国王陛下)とともに訪問された。

・足利学校で曝書が行われた。

11月

・美術館南地下道が開通した。
・足利学校で初めての『楷の木コンサート』を開催した。
・葉鹿橋左岸土地区画整理事業が開始された。

12月

・環境都市を宣言した。
・第6分団の詰所(五十部町)が完成した。

1997年(平成9年)

1月

・山辺中に武道館が完成した。
・あがた工業団地の造成が完了した。

2月

・八柵東部土地区画整理事業が竣工した。

3月

・簡易保健総合レクリエーションセンター建設予定地に温泉スタンドを設置した。

・上松田地区水道未普及地域解消事業が完了し、全市域が給水可能となった。

・シルバー人材センター活動施設が完成した。

・田中西部土地区画整理事業が竣工した。

4月

・小俣小と小俣第二小を統合した。

・足利市行政手続条例を施行した。

・織姫公園レストラン棟をリニューアルオープンした。

6月

・市長へのファクス通信が始まった。

・足利学校を会場に、漢字能力検定試験が開始された。

7月

・両毛5市災害応援協定を締結した。

・松田川ダムふれあい広場を開場した。

8月

・姉妹都市締結15周年を記念して、わたらせ・サマー・フェスタに鎌倉市の市民ジャズグループが出演した。

9月

・足利市公式ホームページを開設した。

10月

・住民票等自動交付機を設置した。

・西部複合施設(足利西プラザ)の建設が始まった。

・山川ふれあいセンターが完成した。

・古沢巖ヴァイオリンの夜 in 足利学校を開催した。

12月

・第15分団の詰所(福富町)が完成した。

1998年(平成10年)

1月

・足利学校を会場に百人一首大会を開催した。

2月

◆長野冬期オリンピックが開催された。

3月

・足利市都市景観形成基本計画を策定した。

・行政町名に利保二丁目・三丁目、江川町四丁目、田島町一丁目誕生した。

・毛野南部第2土地区画整理事業が竣工した。

4月

・旧小俣第二小をふるさと学習・資料館とした。

5月

・大月小に屋内運動場が完成した。

・北関東自動車道全線事業化記念中心杭打ち式が行われた。

6月

・行政町名に常見町一丁目～三丁目誕生した。

7月

・足利渡良瀬ウォーターパークをプレオープンした。

8月

・まつだ湖に噴水が完成した。

9月

・田崎草雲没後100年記念事業を行った。

・西幸楽荘と多目的スポーツ施設が完成した。

10月

・足利ケーブルテレビ(現わたらせテレビ)が開局した。

・山辺西部第二土地区画整理事業を開始した。

12月

・江川利保第二土地区画整理事業が竣工した。

・第2分団の詰所(助戸三丁目)が完成した。

1999年(平成11年)

1月

・総合窓口化に向けて、市民課窓口業務を拡大した。

2月

・市立美術館開館5周年記念『ロダン展』を実施した。

▶平成10年7月・渡良瀬ウォーターパーク



▲平成10年1月・雪化粧の足利学校



▲平成11年撮影・松田川ダムふれあい広場



▲平成11年4月・総合運動場ウォーキングコース



▶平成11年11月・百人一首かるた

- 3月
 - ・地域振興券を発行した。
 - ・福祉都市を宣言した。
 - ・足利学校応援団が設置された。
 - ・中部クリーンセンターを廃止した。
 - ・陸上競技場を第2種競技場として全面改修した。
- 4月
 - ・みなみ保育所を新しく開所した。
- 5月
 - ・草雲美術館30周年記念展を開催した。
- 7月
 - ・小俣最終処分場が完成した。
 - ・足利渡良瀬ウオーターパークを開場した。
 - ・毛野中の屋内運動場が完成した。
- 8月
 - ・旧警察署を教育庁舎として、市役所の事務室の一部を移転した。
 - ・栃木県と足利市の総合防災訓練が行われた。
- 10月
 - ・東幸楽荘の建設工事が始まった。
- 12月
 - ・足利市と済寧市(中国)の友好都市締結15周年記念式典・祝賀会を開催した。

2000年(平成12年)

- 2月
 - ・市民から募集した足利市制80周年記念キャッチコピーが『新世紀 拓く足利 夢・未来』に決定した。
- 3月
 - ・渡良瀬グリーンプラザが完成した。
 - ・高齢者福祉施策をまとめた『足利市ゴールドプラン21』を策定した。
 - ・足利市環境基本計画を策定した。
 - ・久野公民館を新しく開館した。
 - ・第3分団の詰所(八柵町)が完成した。
- 4月
 - ・介護保険制度がスタートした。
 - ・通学区域再編成により小学校8校(柳原、東、相生、大橋、助戸、千歳、三和、松田)を廃止し、新に5校(けやき、青葉、東山、桜、坂西北)が誕生した。
 - ◆チャイルドシートの着用が義務付けられた。
 - ・スプリングフィールド市との姉妹都市締結10周年を記念して『スプリングフィールド市展』を開催した。

- ・平成13年度に実施する市制80周年記念事業(8事業)を選定した。
- 5月
 - ・足利市とスプリングフィールド市(米国)の姉妹都市締結10周年を記念し、祝賀会と両市内の大学の姉妹校締結調印式を行った。
- 6月
 - ・歴史都市を宣言した。
- 7月
 - ・市民公募により足利市制80周年イメージマスコット『アッシーパル』が決定した。
- 9月
 - ・東幸楽荘を開場した。
- ◆全国都市緑化とちぎフェアが宇都宮市と壬生町で開催された。
- 10月
 - ・シドニー五輪で銀メダルを受賞した女子ソフトボールチームで活躍した白鷗大学足利高校出身の4選手に、足利市スポーツ特別賞を贈呈した。

2001年(平成13年)

- 1月
 - ・史跡足利学校庠主に前田専學さんが就任した。
 - ・ニュー足利創造プラン(第5次足利市振興計画)基本構想を見直し、後期基本計画を策定した。
 - ・樺崎寺跡が国指定史跡となった。
- 2月
 - ・毎週木・金曜日に窓口業務を午後7時まで延長した。
 - ・第17分団の詰所(小俣町)が完成した。
- 3月
 - ・両毛地区市町村圏事務組合が解散した。
- 4月
 - ・河南消防署が開署した。
 - ・通学区域再編成により西小を廃止した。
- 6月
 - ・『日本最古の学校・足利学校 心の学校全国絵手紙展』を開催した。
 - ・前市長 故・早川一夫氏の市葬が行われた。
- 10月
 - ・市民大学あしかが学校を開校した。
 - ・80周年記念事業として桜の植樹を行った。
 - ・市民の意見を反映させる市民会議が発足、活動を開始した。



◀平成15年3月・にしこども館



▶平成15年3月・足利まちなか遊学館



◀平成15年4月・毛野小学校

▶平成15年8月・第19回全日本還暦軟式野球大会の開会式の様子。



▼平成12年10月・足利市スポーツ特別賞授賞式。



・公募議員による『市制80周年記念事業足利市女性議会』を開催した。

11月

・市制施行80周年記念式典を開催した。

2002年(平成14年)

1月

・足利市国際交流協会が総務大臣賞を受賞した。

2月

・市立美術館で『相田みつを展』を実施した。

・緑橋左岸土地区画整理事業が竣工した。

・富田中に特別教室棟が完成した。

3月

・御厨公民館が新しく完成した。

・東武足利市駅北口に『風車のモニュメント』が完成した。

・第4分団の詰所(八幡町三丁目)が完成した。

4月

・男女共同参画センターを開所した。

・社会福祉協議会と社会事業協会が合併した。

5月

・織姫相生小学校通り(北仲通り)改修工事が竣工した。

・日本女子ソフトボール1部リーグが本市で開催された。

・梁田小の屋内運動場が完成した。

・足利市シルバー人材センター設立20周年記念式典が開催された。

6月

・企業誘致1万社リストアップ作戦が始まった。

・日本一の三名所バスラッピングが完成した。

7月

・地域振興整備公団足利開発所が開設された。

・市立美術館足利ゆかりの作家支援事業制度が始まった。

・台風6号の影響で出たごみの一斉清掃を行った。

・足利市初の女性農業委員が選出された。

・生き街工房αが通二丁目に開かれた。

8月

・足利市と鎌倉市の姉妹都市締結20周年記念祝賀会を開催した。

・住民基本台帳ネットワークシステムが稼働した。

・足利県立自然公園と三名所が遊歩百選に選ばれた。

10月

・個人情報保護制度を開始した。

・デザインの日記念事業が本市で開催された。

11月

・総合型地域スポーツクラブ第1号として三重スポーツクラブが設立された。

・市民活動センターが開所した。

・足利学校職員の着物での対応が始まった。

2003年(平成15年)

1月

・市の南部を走る生活路線バス『みなみ号』が運行を開始した。

2月

・ISO9001の認証を取得した。

・富田中の新校舎と特別教室棟が完成した。

・高校生デュオ『いっしょ』が足利市文化特別賞を受賞した。

3月

・春日市営住宅1号棟が完成した。

・東武足利市駅前と市役所前に河川情報表示版が設置された。

・足利市インキュベーションオフィスA-BOXの入居が始まった。

・足利市営競馬が53年の歴史に幕を閉じた。

・足利まちなか遊学館が開館した。

・小保公民館・にしこども館の複合施設が完成した。

・新しい葉鹿橋が完成し、開通式を行った。

4月

・市立美術館に郷土作家コーナーを新設した。

5月

・小学校で音楽教室出前講座を開催した。

8月

・足利学校の参観者が300万人に突破した。

・パブリック・コメント第1号を募集した。

・全国高校生ボランティア・リーダーズ・サミット2003が開催された。

・『足利英会話教育特区』の認定を受けた。

9月

・全日本選抜軟式野球大会が開催された。

・旧東小の温水プールを一般開放した。

2004年(平成16年)

1月

・意見提案制度(パブリックコメント)を活用した初めての条例が施行された。



◀平成15年・あしかが競馬が終了した。

▶平成15年・史跡足利学校の参観者が300万人となった。



◀平成14年8月・足利市鎌倉市姉妹都市締結20周年記念祝賀会を開催した。



▶平成16年3月・太平記館がリニューアルオープンした。



◀平成16年11月・西部複合施設にウォーキングコースが完成した。



2月
 ・安心して子育てができるように、あしかがファミリー・サポート・センターが組織された。

3月
 ・太平記館がリニューアルオープンした。
 ・葉鹿橋左岸土地区画整理事業により、新町名『葉鹿南町』ができた。
 ・大久保分校が130年の歴史に幕を閉じ、閉校した。

4月
 ・新しくなった毛野小で授業が始まった。
 ・英会話教育特区認定を受け、小学校のモデル校で英会話学習が始まった。

5月
 ・中心市街地空き店舗対策事業により、音楽・生活文化教室が開かれた。
 ・あしかが歴史街道ウォークが開催された。

6月
 ・あしかが産学官連携推進センターが設立された。
 ・高齢者元気アップ事業が始まった。

8月
 ・足利工業大学、上智大学と『生涯学習によるまちづくりに関する覚書』を締結した。

9月
 ・草雲美術館35周年を記念して『田崎草雲と下野の文人画』特別展が開催された。
 ・市立美術館開館10周年記念『足利学校展』を開催した。

10月
 ・葉鹿橋左岸土地区画整理事業が竣工した。
 ・新潟県中越地震が発生し、本市から水道部の給水車と消防隊員などが救援に向かった。

11月
 ・西部複合施設にウォーキングコースが完成した。
 ・市立美術館開館10周年を記念して、『鏝阿寺の宝物展』が開催された。
 ・観光情報などを紹介する足利市メールマガジンの配信を開始した。
 ・足利市と済寧市(中国)の友好都市締結20周年記念式典・祝賀会を開催した。

2005年(平成17年)

2月
 ・大日西土地区画整理事業を開始した。

3月

・天然のミネラル分を豊富に含んだ『足利の自然水』の販売が始まった。

4月
 ・小学校の英会話学習が市内全校で始まった。
 ・中央消防署東分署が開署した。

5月
 ・中央土地区画整理事業を開始した。
 ・商工会議所が通三丁目の旧足利銀行足利支店に移転した。

7月
 ・とうこうコミュニティーセンターが開所した。

9月
 ・市立美術館で『足利銘仙の黄金時代展』を開催した。
 ・足利尊氏公生誕700年記念事業『足利薪能』で、尊氏公時代の芸能『田楽風流』が上演された。
 ・足利尊氏公生誕700年を記念し、演劇工房DON-DE Nによる歴史ドラマ『義兼』が上演された。

10月
 ・葉鹿保育所と板倉保育所を統合廃止し、新たににし保育所を開設した。

11月
 ・足利尊氏公生誕700年を記念し、足利氏ゆかりの地ウォークラリー、足利氏ゆかりの地パネルディスカッション・記念講演会、足利そば祭りなどのイベントを開催した。

2006年(平成18年)

1月
 ・姉妹都市締結15周年を記念して、『足利市日本料理紹介訪米団』がスプリングフィールド市を訪問した。

2月
 ・市街地活性化の拠点として、足利商工会議所の友愛会館が開館した。
 ・戸籍事務の電算化を開始した。

3月
 ・第5次行政改革大綱を作成した。
 ・足利尊氏公生誕700年記念事業として臨濟宗相国寺派・江上泰山さんの特別講演会を開催した。
 ・西久保田工業団地の造成が完了した。
 ・足利インター・ビジネスパークの造成が完了した。

4月
 ・第6次足利市総合計画『あしかが輝きプラン』を策定した。



◀平成17年5月・通三丁目に移転した足利商工会議所。

▼平成17年4月・山辺公民館ホール棟が完成した。



▼平成17年4月・山前公民館が移転・完成した。



▲平成17年4月・にし保育所が完成した。



▲平成18年4月・北の郷農産物直売所がオープンした。

▼平成17年11月・第1回足利そば祭りを開催した。



◀▼平成18年7月・トマトフェスティバルを開催した。



- ・指定管理者による市有施設の運営が始まった。
- ・Eメールでの消防防災情報の提供サービスを始めた。
- ・火災・救急・救助などに迅速に対応する『高機能消防指令センター』の運用が始まった。
- ・新たな介護予防サービスを提供する『地域包括支援センター』を開設した。
- ・樺崎町に『北の郷農産物直売所』が開かれた。

5月

- ・体験型観光施設として『藏風土』が開館した。
- ・いちごの収穫体験ができる『いちごフェスティバル』を開催した。
- ・2000本安打を達成した足利工業高校出身の石井琢朗さん(当時横浜ベイスターズ)に『足利市スポーツ特別賞』を贈った。

6月

- ・旧相生小を改修し、生涯学習センターを開設した。

7月

- ・トマトの収穫体験ができる『トマトフェスティバル』を開催した。
- ・藤本観音山古墳が国指定史跡となった。

8月

- ・本市で全日本クラブ野球選手権が開催され、創部50周年を迎えた全足利クラブが出場した。

10月

- ・『五代目堀込源太会』が18年度民謡民舞全国大会で初出場・初優勝を飾った。

2007年(平成19年)

1月

- ・七丁目交番が通四丁目に移転し『織姫交番』となった。
- ・『大阪国際女子マラソン』で、山辺中出身の原裕美子さん(当時京セラ)が2時間23分48秒で優勝した。

2月

- ・足利産トマトといちごの需要拡大を図るため、東京都卸売市場葛西市場でトップセールスを行った。

3月

- ・地産地消の推進をめざし『第1回農林業まつり』を開催した。
- ・差し押さえ品のインターネット公売を開始した。
- ・『災害対応特殊屈折はしご車』を導入した。
- ・第7分団の詰所(山下町)が完成した。

4月

- ・足利商業高校と足利西高校が統合して、県立足利清

風高校が開校した。

- ・副市長制が導入され、助役・収入役が廃止された。
- ・小児夜間救急診療が足利赤十字病院内で開始された。
- ・市内全小・中学校で、論語の素読を授業に取り入れた。
- ・『渡良瀬橋』の歌碑が建立された。
- ・鎌倉市と姉妹都市締結25周年を迎えた。

5月

- ・市内観光スポットを巡る2種類の無料回遊バス『ひよこバス』『ぐるワンバス』が運行された。

8月

- ・市職員全員による市税の訪問徴収を開始した。
- ・足利市公設地方卸売市場開設30周年記念式典を開催した。

9月

- ・世界遺産登録の暫定リスト入りを目指し、『足利学校と足利氏の遺産』を文化庁に申請した。
- ・遊休農地の有効活用などを図るため『市民農園』を開設した。

10月

- ・『全国足利氏ゆかりの会』の陳情などにより京都時代祭に初めて『室町時代列』が登場した。

11月

- ・30回目を迎えた『足利尊氏公マラソン大会』が開催された。
- ・『釋奠』が、市から史跡足利学校釋奠保存委員会に移管され行われた。

12月

- ・大月町のサンヨー電機工場跡地に『あしかがハーヴェストスペース』がオープンした(平成26年6月から『アシコタウンあしかが』)。

2008年(平成20年)

2月

- ・県道飛駒・足利線『名草下バイパス』が開通した。
- ・県道松田・葉鹿線『板倉バイパス』が全線開通した。

4月

- ・燃やせるごみの減量化に向けごみ袋の有料指定袋制を導入した。
- ・廃食用油から作られるバイオディーゼル燃料で走る給食配送車を1台導入した。

5月

- ・『足利・名草ふるさと自然塾運営協議会』が正式に発足し、各種事業を展開した。



◀平成19年の足利インタービジネスパーク。

▼渡良瀬橋歌碑。



▲平成19年3月・第1回農林業まつりの様子。



▼平成20年7月・松田川ダムのエコアート。



▼平成20年8月・白鷗大足利高校が甲子園に出場した。

・国史跡樺崎寺跡の保存整備第1期工事が完了し、3つの建物の基壇遺構を整備した。

・足利市地域福祉計画を策定した。

6月

・本市から流出した運慶作『木像大日如来坐像』が東京国立博物館で一般公開された。

7月

・ドイツ人アーティストのクラウス・ダオヴェン氏による松田川ダムの巨大なエコアートが完成した。

8月

・ふるさと足利応援寄付金がスタートした。

・白鷗大足利高校が甲子園に出場した。(足利工業高校以来21年ぶり)

・北京五輪に白鷗大足利高校出身の染谷美佳さん(ソフトボール・金メダル)と協和中出身の杉町マハウさん(400mハードル・ブラジル代表)が出場した。

10月

・国道293号線拡幅に伴い、児童養護施設『泗水学園』が移転した。

2009年(平成21年)

5月

・栗田美術館とあしかがフラワーパークの連絡を向上させる『市道大久保町87号線(迫間地下道)』が開通した。

6月

・足利学校の参観者が400万人を突破した。

・『足利事件』で釈放された菅谷利和さんが市役所を訪問した。

・新足利赤十字病院の建設工事が始まった。

7月

・国指定重要文化財の鑊阿寺本堂の75年ぶりの大修理が行われた。

8月

・『全国小学生ABCバトミントン大会』(小学3・4年生の部)で青葉小4年生の高橋明日香さんが優勝した。

9月

・世界的オカリナ奏者・宗次郎さんによる『癒しの鑊阿寺コンサート』が開催された。

10月

・市役所窓口を平日夜7時まで延長した。

・市の事業について必要性があるかどうかなどを公開の場で議論する『事業仕分け』を実施した。

・『第22回全国スポーツ・レクリエーション祭(スポレ

クみやざき2009)』(ゲートボール)で足利新和会が初優勝した。

・『世界ジュニア柔道選手権』(フランス・パリ)44キロ級で白鷗大足利高校の蓬田智佳さんが優勝した。

・友好都市締結25周年を記念して『日中友好足利市民訪中団』が済寧市へ訪問し、記念式典に参加した。

11月

・足利尊氏公マラソン大会に原裕美子さんが参加した。

・地元企業・学校などが参加した足利5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)学校が出発式が開催された。

・皇居外苑で行われた『天皇陛下即位二十年をお祝いする国民歳典』に足利八木節連合会が栃木県代表として参加した。

12月

・渡良瀬河川敷でバルーン・フェスタが開催された。

2010年(平成22年)

1月

・市役所庁舎内および市有施設などの飲料自動販売機設置の入札を実施した。

2月

・家庭用廃食用油の拠点回収を開始した。

3月

・足利学校で初めて『全国論語素読の集い』を開催し、『論語のまち・足利』を全国に発信した。

・ごみ収集運搬業者の選定に一般競争入札を導入した。

4月

・指定ごみ袋を値下げした。

・足利市観光大使に落語家・三遊亭歌橘さん、タレント・勝俣州和さんを任命した。

・市内の繊維メーカー『セイホウ』の製造した靴下が、宇宙飛行士・山崎直子さんとともに宇宙に行った。

・こども医療費の助成対象を中学3年生まで拡大した。

5月

・築150年と言われる市内の民家を移築・復元した『名草ふるさと交流館』が開館した。

6月

・市役所庁舎内を全面禁煙にした。

7月

・記録的猛暑が続いたため、市有施設で『打ち水大作戦』を実施した。

・市イメージキャラクター『たかうじ君』が誕生した。



◀平成22年2月・家庭用廃食用油の拠点回収を開始した。



▶平成22年5月・おおいわアスレチックフェスの様子。



▲平成22年5月・浅間山からの展望。日本赤十字病院の建設中の様子がうかがえる。



▲平成23年4月・上空から撮影したまちなみ。



▲平成22年9月・史跡足利学校の曝書。

▼平成23年9月・草雲美術館とヒガンバナ。



◀平成22年11月・もみじ谷。

▼平成22年11月・栗田美術館で開かれた足利グルメグランプリ。



- 8月
 - ・萌えキャラ『足利ひめたま』が誕生した。
 - ・市公式ツイッターの運用を開始した。
 - ・市内の豊富なハイキングコースを紹介した『足利市ハイキングマップ』を作成・配布した。
- 9月
 - ・市内でロケが行われた映画『君に届け』が一斉公開された。
 - ・小学6年生の女子児童に、子宮頸がん予防接種費全額補助を開始した。
- 10月
 - ・パスポート(旅券)の申請窓口が市役所に開設された。
 - ・足利市とスプリングフィールド市(米国)の姉妹都市締結20周年記念祝賀会を開催した。
- 11月
 - ・足利秋まつりで『足利グルメグランプリ』を開催した。

2011年(平成23年)

- 1月
 - ・市制施行90周年を迎えた。
 - ・『第6次足利市行政改革大綱実施計画』を策定した。
- 3月
 - ◆**11日、東日本大震災が発生した。**
 - ・北関東開通フェスタが震災の影響で中止となった。
 - ・北関東自動車道足利インターが開通し、これにより全線開通となった。
 - ・福島県からの震災避難民を名草セミナーハウスと北幸楽荘へ受け入れた(約130名)。
- 4月
 - ・第一中、愛宕台中、富田中を小規模特認校とし、土曜日授業を開始した。
 - ・『広報あしかがみ』を月1回の発行に変更した。
 - ・市制90周年を機に、これまでの愛唱歌『われらのまちに』を市歌に変更した。
 - ・水道給水開始80周年を迎えた。
 - ・足利市観光大使に本市出身のタレント・手島優さんを委嘱した。
 - ・市制90周年記念事業として『足利文芸賞』を募集した。
- 5月
 - ◆**北海道泊原発3号機が運転を停止し、国内の原発50基がすべて運転を停止した。**
 - ・世界的バイオリニストの五嶋みどりさんが南小で演奏会を開催し、演奏指導も行った。

- ・名草ふるさと交流館を拠点に『里山フェスタ』、『里山ウオーク』が開催された。
- ・市歌継承式及び5Sキックオフを開催した。
- ・震災の影響で延期となっていた『第2回全国論語素読の集い』が足利学校で開催された。
- 7月
 - ・新足利赤十字病院が開院した。これに伴い足利市休日夜間急患診療所・足利市薬局施設が併設された。
 - ・コムファースト・ショッピングセンター(アピタ足利店)内に行政サービスセンターを開所した。
 - ・生活路線バスの実証運行を開始した。
- 8月
 - ・市議会議場で青少年議会(高校生議会)が開催された。
 - ・NHK巡回ラジオ体操大会が陸上競技場で開催された。
 - ・第27回全国小学生陸上交流大会男子400メートルリレーで栃木県代表の足利陸上教室チームが優勝し日本一に輝いた。
- 10月
 - ・生涯学習センターに放送大学栃木学習センター足利学舎が開設された。
 - ・NHKのど自慢足利大会が市民会館大ホールで開催された。
- 11月
 - ・市制90周年記念足利市生涯学習振興大会・論語に親しむ会が開催された。
 - ・第3回『全国論語素読の集い』が開催された。
 - ・市制90周年記念式典を開催し、これに併せて『足利文芸賞』の受賞者を発表した。
- 12月
 - ・国際ソロプチミストと足利ベンチャークラブの寄付による旧足利市歌を刻んだ歌碑が市役所前に設置された。
 - ・大分県日田市市長が孔子廟を視察した。
 - ・足利学校の参観者を8年後の2019年度までに倍増する『足利学校参観者倍増計画』を策定した。

2012年(平成24年)

- 1月
 - ・市立美術館で『没後20年 足利が生んだ心の詩人 相田みつを特別展』を開催した。
- 2月
 - ・足利学校が、一般社団法人世界孔子協会から『孔子教育賞』を受賞した。



◀▼平成23年・新足利赤十字病院



▶平成23年・北関東自動車道足利インターチェンジ付近の上空からの様子。



▼平成23年8月・ラジオ体操



▼平成23年10月・のど自慢大会



▲平成23年4月・織姫公園の藤

3月

・論語の普及と『論語のまち足利』を全国に発信するため、『足利学校・全国論語研究会』を設立した。

・第9分団の詰所(名草中町)が完成した。

4月

・鎌倉市と姉妹都市締結30周年を迎えた。

・足利学校に市外の方を案内すると参観料を割り引く『足利学校市民総コンシェルジュ運動』を開始した。

・電力需給問題に対する地方からの取り組みとして、『創電』『節電』『蓄電』からなる『足利市民総発電所構想』を開始した。

5月

・道の駅候補地を瑞穂野町地内に選定した。

・日本で25年ぶりの金環日食を市内でも観測した。

・東京スカイツリーが開業した。併設する商業施設・東京ソラマチに栃木県アンテナ店『とちまるショップ』がオープンし、足利市の名産品も店頭に並んだ。

・中橋北交差点に大型土のうを積むなど、渡良瀬川溢水を想定した初の実践的な訓練を実施した。

6月

・フィンランド駐日大使が足利学校、鏝阿寺を視察した。

・旧競馬場跡地の芝生植え付け作業をボランティアで実施、2日間で1千人が参加した。

7月

・市条例により工業団地などの緑地面積率を大幅に緩和し、新たな工業用地を創出した。

・セブンイレブンで住民票などの証明書発行サービスを開始した。

・『足利市民総発電所構想』の一環として、太陽光発電事業者への市有施設の屋根貸し事業の公募を開始した。

・県道足利館林線野田バイパスが開通した。

・ロンドン五輪開幕。足利工業高校出身の齋川哲克さんがレスリング・グレコローマンスタイル96キロ級に出場した。

・市内初のパークゴルフ場が渡良瀬川河川敷借宿緑地(中川町)にオープンした。

8月

・友好都市を締結している済寧市(中国)の小学生45人が市内に滞在。市内の小学生と交流を深めた。

・姉妹都市締結30周年を記念して、わたらせ・サマーフェスタに鎌倉市の市民ジャズグループが出演した。

・第1回論語検定(論語吟味)を開催した。

・足利市経済活性化諮問会議が経済活性化に向けて

230項目を提言した。

9月

・陸前高田市の小学生の修学旅行を受け入れ、農業体験や論語の素読体験などを実施した。

10月

・栃木県立博物館で特別企画展『足利尊氏—その生涯とゆかりの名宝—』を開催した。また、市内でも関連行事を実施した。

・民間の観光に携わる方たちで構成する『足利観光誘客戦略会議』が提言書を提出した。

・足利おおいわいこいの広場(旧足利サンフィールド)が閉場した。

11月

・第1回世界5Sサミットが開催された。

・第35回『足利尊氏公マラソン大会』に過去最多の5,439人が参加し、健脚を競った。

・市教委が市内中学校の制服の統一化を校長会やPTA連合会に提案した。

12月

・情報技術(IT)を活用した環境配慮型都市『スマートシティ』の実現を目指して、総合特区申請を目指す地域協議会を設立した。

・緑町の八雲神社が火災により全焼した。

・栃木県安足土木事務所がイノシシ除けの実験のためにヒガンバナを板倉町内の松田川堤防に植栽した。

・京都市で開催された全国高校駅伝競走大会で白鷗大学足利高校が歴代最高の6位に入賞した。

・本市選出の茂木敏充代議士が第二次安倍内閣の経済産業大臣として3度目の入閣を果たした。

2013年(平成25年)

1月

・足利学校で元旦論語素読会を開催した。

・両毛7市が連携し東京スカイツリーを見学する臨時列車を運行し、東武足利市駅で出発式を行った。

3月

・中学校の制服見直し問題で市教委が変更時期は各校の判断に任せることを表明した。

・太平記館がリニューアルオープンした。

・『渡良瀬橋』で知られる歌手の森高千里さんが一日市長を務め、市内の観光名所を訪問した他、市民会館で2日間コンサートを行った。

・梁田小の新校舎が完成した。

▼平成24年8月・済寧市の小学生が来足した時の様子。



▼平成24年11月・5Sサミット。



◀平成25年9月・防災訓練の様子。



▼平成25年8月鏝阿寺本堂が国宝に指定され、それを記念してシンポジウムやラテン&ジャズコンサートを開催した。



4月
 ・旧西小の校舎を改修した『さいこうふれあいセンター』を開所した。
 ・東武足利市駅構内に観光交流館(愛称:あし・ナビ)がオープンした。
 ・松田保育所をにし保育所に統合した。
 ・市民会館専属のプロフェッショナル芸術団体(ミュージカル、室内オーケストラ、オペラ)が発足した。
 ・秋篠宮妃紀子さまが市立美術館にお成りになり、開催中の企画展を鑑賞された。

6月
 ・競馬場跡地芝生広場で、6カ国30チームの子どもたちがサッカーで交流を深める『ぼくらのワールドカップ in 足利』が開催された。

7月
 ・競馬場跡地芝生広場が供用を開始した。日除け施設には、霧(ミスト)を噴出して暑さを和らげる装置や、太陽光発電装置(メガソーラー)が設置された。

・全国的な猛暑日が続いた。(足利市のこの夏の最高気温は38.6℃)

8月
 ・鏝阿寺本堂が国宝に指定され、これを記念してシンポジウム、ラテン&ジャズコンサートを開催した。

9月
 ・防災の日に合わせ、県と市が合同で実践的な総合防災訓練を実施した。

10月
 ・市立美術館で足利学校の所蔵する国宝『文選』を特別展示した。
 ・海外からも講師を招き、『世界遺産登録推進国際シンポジウム』を開催した。
 ・鏝阿寺本堂の国宝指定を受け募集したキャッチコピーが『あなたも歴史の旅人に 国宝鏝阿寺』に決定した。

・大型で強い台風26号の影響で、降り始めから24時間の雨量が、市内の宇都宮気象台 足利観測所で180ミリを記録した。

・第66回秋季関東地区高校野球大会で白鷗大足利高校が初優勝した。栃木県勢による関東大会制覇は12年ぶり。

11月
 ・鏝阿寺本堂国宝指定記念観光情報誌『るるぶ特別編集 足利』を発行した。

・アジア最大規模の撮影スタジオ誘致を核とする『映像のまち』構想を発表した。

12月
 ・市内の空き店舗や倉庫などを活用し子ども向け屋内遊戯施設を誘致することを発表した。
 ・あしかがフラワーパークの夜景が『第1回全国イルミネーションアワードイルミネーション部門』で第2位に選ばれた。
 ・足利銀行の持ち株会社足利ホールディングスが10年ぶりに東証1部に上場した。

2014年(平成26年)

1月
 ・文化財防火デーに合わせ、国宝となった鏝阿寺本堂で初の放水訓練を実施した。

・白鷗大学足利高校が春の選抜高校野球大会に初出場することが決定した。

2月
 ・2週連続で記録的な大雪に見舞われ、市内の農作物やビニールハウスなどの農業施設約100棟に被害が発生し、被害総額は1億円を超えた。

3月
 ・東日本大震災から3年を迎えた11日、大型台風の直撃を想定した災害対策本部のシミュレーション訓練を市役所で実施した。

・市内に建設された巨大オープンセットで映画『バンクーバーの朝日』が撮影された。

・食物アレルギーの子どもに代替食を提供する専門調理室を設けた、新しい学校給食共同調理場が今福町に完成した。

・原案を市内の学校から募り、市内の小中高生が足利の街を舞台に演じた、まち映画『神様、仏様、オヤジ様』が完成し、市民プラザで上映会を開催した。

・移転した中央消防署西分署が完成した。

4月
 ・久野保育所を梁田保育所に統合した。
 ・福居保育所を民営化した。

・東日本大震災の電力不足への配慮から中止していた中橋のイルミネーションが3年ぶりに再開した。

・新しい学校給食共同調理場が稼働を始めた。

・足利市立美術館の開館20周年を記念し、特別展『相田みつを 入江泰吉一書と写真の世界』を開催した。

・小侯地区の山林火災で40世帯に避難勧告を出した。足利の山林72ヘクタールが焼失した。



◀▼平成26年3月・今福町に完成した学校給食共同調理場。



▼▶平成26年・全足利クラブが都市対抗野球大会北関東予選を突破し、36年ぶりに本選に出場した。



◀▼▶平成26年・北仲通りの七夕飾りと100回を迎えた花火大会。



・新産業団地の候補地を県駅南側に選定した。

5月

- ・道路を日常的に利用する企業や業界団体と、市道の危険箇所の情報提供協力に関する協定を結んだ。
- ・史跡足利学校が社団法人世界孔子協会から『孔子伝播賞』を受賞した。

6月

- ・記録的大雨で県道の山川アンダーパスが冠水した。
- ・全足利クラブが都市対抗野球大会北関東予選を突破し、36年ぶりに本選に出場した。

7月

- ・足利織姫神社が『恋人の聖地』に選ばれ、『日本夜景遺産』に認定された。
- ・観光大使制度を見直し、より幅広い分野で活躍している個人・団体を委嘱する『あしかが輝き大使』制度を創設した。
- ・本市出身の歌手・真氣さんと、地元の社会人硬式野球クラブチーム・全足利クラブを『あしかが輝き大使』に委嘱した。
- ・歌舞伎俳優の市川猿之助さん、市川笑也さんをお招きし『足利歌舞伎』を公演した。
- ・花火大会前夜祭で北仲通りが歩行者天国となり、七夕飾りと夜店で賑わった。

8月

- ・足利花火大会が100回目を迎え、2万発の花火が45万人の観客を魅了した。
- ・日本語学校の教職員が留学生に勧めたい進学先を選ぶ2014年度の『日本留学アワード』で、足利工業大学が東日本理工系大学部門で初の大賞を受賞した。
- ・市内全小学校普通教室にエアコンを設置した。

9月

- ・本城三丁目の行基平山頂古墳で、県内でも珍しい人物埴輪などが複数出土した。
- ・市内小・中学生による『こども釋奠』を初開催した。

10月

- ・生活路線バス『あしバスアッシー』の運行を開始した。
- ・ねんりんピック栃木ソフトボール交流大会を開催した。全国各地から参加した約1千名の選手を、市民一丸となってもてなした。
- ・3年ぶりに鑢阿寺境内で足利薪能を開催した。
- ・鑢阿寺境内で『声明コンサート』を開催した。

11月

- ・プロ野球千葉ロッテマリーンズ(当時)の岡田幸文さ

ん、エコノミストの永濱利廣さん、ケーナ奏者のRenさんを『あしかが輝き大使』に委嘱した。

- ・松江市の中村元記念館と史跡足利学校が交流協定を締結した(故中村元さんは復原後の足利学校初代席主)。
- ・足利市と済寧市(中国)の友好都市締結30周年記念式典・祝賀会を開催した。

12月

- ・屋内子ども遊び場『キッズピアあしかが』がオープンした。

2015年(平成27年)

1月

- ・2014年の人口動態で23年ぶりの転入超過となった。

2月

- ・節分鑑年越が大正4年創始以来100周年を迎えた。
- ・戦後70年、百頭空襲の慰霊祭が30年ぶりに行われた。
- ・足利商工会議所が中心となって、足利、栃木、桐生、伊勢崎の着物文化を生かした観光連携のあり方を探る『足利道楽シンポジウム』を開催した。
- ・足利の食と芸術・音楽、伝統芸などを融合させたイベント『足利風土祭』が初開催された。
- ・2012年の火災で全焼した緑町の八雲神社が、伊勢神宮内の社の古材を譲り受け再建することを発表した。
- ・教育に関する施設の世界遺産登録を目指す足利市、茨城県水戸市、大分県日田市の協議会に、岡山県備前市が加わることが決定した。

4月

- ・史跡足利学校が復元以来、参観者500万人を達成した。
- ・史跡足利学校が『近世日本の教育遺産群』として茨城県水戸市、大分県日田市、岡山県備前市とともに『日本遺産』に認定された。
- ・たかうじ君テーマソングCD『ちはっ!たかうじ君』を発売。歌に合わせて行う『たかうじ君体操』も完成した。

5月

- ・北仲通りで『第1回ワインウォーク』が開催された。

6月

- ・藤田 正さんが八木節宗家六代目堀込源太を襲名した。

7月

- ・ハンドボール女子日本代表『おりひめジャパン』が足利織姫神社で必勝を祈願した。
- ・歌手の森高千里さんを『あしかが輝き大使』に委嘱した。また、JR足利駅と東武足利市駅の発着メロディが『渡良瀬橋』となった。

▼▶平成26年10月・ねんりんピック栃木ソフトボール交流大会の様子。



▶平成26年12月・キッズピアオープン初日の様子。



▼平成27年2月・100周年を迎えた鑑年越



▶平成27年10月・市立美術館で開催した田崎草雲生誕200年記念企画展。



▼平成27年7月・両駅で流れるメロディが森高千里さんの『渡良瀬橋』になった。▼



- ・『恋人の聖地』足利織姫神社に『愛の鐘』が完成した。
- 8月
 - ・映像関係者で組織する『第1回足利銀幕会議』を開催した。
 - ・大相撲足利場所を開催した(市内での巡業は約20年ぶり)。
 - ・本市出身陸上選手・菅井洋平さんが世界陸上北京大会に走り幅跳びで日本代表として出場した。
 - ・公立全中学校普通教室にエアコンの設置が完了した。
- 9月
 - ・歌手の加藤登紀子さんが鑲阿寺境内でコンサートをを行い、1千人を超える観客を魅了した。
 - ・構想実現に向けて語り合う『映像のまちフォーラム』を初開催した。
 - ・足利工業大学と市が、中心市街地の活性化を目指した包括連携協定を結んだ。
- 10月
 - ・全国の貴重な土木構造物を顕彰している公益社団法人土木学会が、市内の近代水道施設群を『推奨土木遺産』に認定した。
 - ・市立美術館で画家・田崎草雲生誕200年記念企画展を開催した。
 - ・スプリングフィールド市(米国)と姉妹都市締結25周年を迎え、両市長が改めて姉妹都市提携を宣言する協定書に調印した。
- 11月
 - ・足利の織物産業を支えた足利工業高校創立120周年を記念し、同校所蔵の貴重な織物資料を収蔵・展示する足利工業高校資料館が開館した。
 - ・史跡足利学校復元25周年記念特別講演会、日本遺産サミットを開催した。
 - ・大日東土地区画整理事業が竣工した。
 - ・山下町の新藤氏庭園が国の登録記念物に指定された。
 - ・足利織物伝承館がリニューアルオープンした。
- 12月
 - ・市が浅草の商業施設『まるごとにつぼん』に出展した。

2016年(平成28年)

- 2月
 - ・足利の食や芸術文化をアピールする冬のイベント『足利冬物語』がスタートし、足利銘仙柄のあんどん『足利銘仙灯り』が石畳通りを彩った。
 - ・国内外で活躍するパティシエ・江森宏之さんを『あ

- しかが輝き大使』に委嘱した。
- 3月
 - ・大月町の商業施設・アシコタウンあしかが内に映画館『ユナイテッド・シネマ』が開館した。
 - ・行政、地域住民、団体、民間事業所が連携して高齢者の見守りを行う協定を結んだ。
 - ・キッズピアあしかがに『子ども映像メディアアートブース』が新設された。
 - ・東武伊勢崎線の福居駅に新駅舎が完成した。
- 4月
 - ・県立足利図書館が市に移管され、足利市立図書館として開館した。
 - ・日本とイタリアの国交樹立150周年を記念し、ローマ市内の日本文化会館で足利銘仙を紹介する企画展を開催した。
 - ・健康で幸せな生活ができる『健幸(けんこう)』をキーワードとした事業『スマートウェルネスあしかが』がスタートした。
- 5月
 - ・広報『あしかがみ』が1500号を発行した。
- 7月
 - ・選挙権年齢が18歳以上になって初めての選挙が行われ、市内でも高校生が投票に訪れた。
- 8月
 - ・マンホールカードに足利市が県内で初参加し、好評を博した。
 - ・リオ五輪が開幕し、協和中出身の杉町マハウさんが男子400mハードルにブラジル代表として出場した。
 - ・JR東日本と市が連携協定を締結。JR東日本では3例目で、まちづくりや観光客の回遊性向上などで連携を図ることとなった。
- 10月
 - ・足利学校が所蔵する4種の国宝書籍を一堂に公開する『足利 学校国宝展』を初開催した。
 - ・夜景鑑賞士が選んだ2016『第4回イルミネーションアワード』で、あしかがフラワーパークが全国1位に選ばれた。
 - ・北仲通りにある銭湯で撮影を行った『湯を沸かすほどの熱い愛』など、市内で撮影された映画の公開が相次いだ。
- 11月
 - ・足利まちなか遊学館がリニューアルオープンし、銘仙を中心とした着物などの着付け体験を開始した。



▼平成28年2月・足利銘仙柄のあんどん『足利銘仙灯り』が石畳通りを彩った。



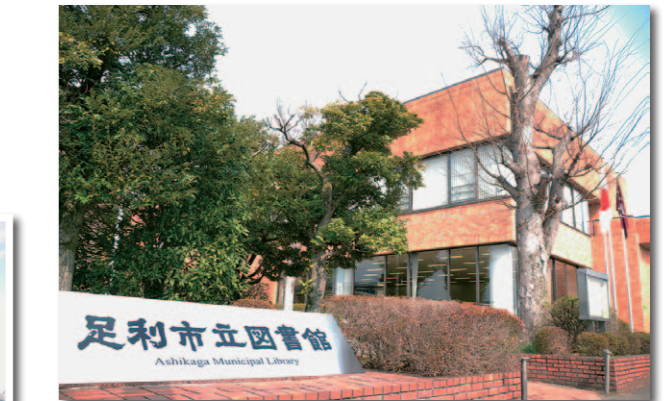
▼平成29年3月・山姥切国広展の様子。



◀▼平成27年12月・まるごとにつぼんに出展したときの様子。



▲平成28年12月・足利市のご当地ナンバープレート



▲平成28年4月・市立図書館が開館した。

▼平成29年1月・『足利歩き愛(め)です』のために鑲阿寺に集まった参加者。



・世界的なヴァイオリン奏者の古澤 巖さん、DJで音楽プロデューサーの須永辰緒さん、ご当地アイドルの渡瀬橋43、歌手の堀優衣さんを『あしかが輝き大使』に委嘱した。

12月
・足利市のご当地ナンバープレートが決定した。

2017年(平成29年)

1月
・『素通り禁止! 足利』プロジェクトが始動した。
・七福神を巡るウォーキングイベント『足利歩き愛(め)です』に約1,500人が参加した。

2月
・足利織姫神社から望む月が『日本百名月』に認定された。

3月
・『山姥切国広展』を開催し、市立美術館は過去最多の来館者(37,820人)を記録し、商店街も刀剣にちなんだメニューなどでもてなし、まちなかはファンで溢れ返った。

・ロードバイクレース『ツール・ド・とちぎ』が開催され、足利市が初日のゴールになった。
・第16分団の詰所(葉鹿町)が完成した。

4月
・遷宮80年を記念して足利織姫神社の社殿が20年ぶりに鮮やかな朱色に塗り直された。

・鎌倉市と姉妹都市締結35周年を迎えた。
6月
・足利市初となる『地域おこし協力隊』が着任した。

・地球温暖化対策に関する『クールチョイス宣言』を行った。

7月
・『葉鹿祇園祭』で市指定文化財である葉鹿仲町の屋台が2年間の修復を終え、60年ぶりに巡行した。

・新農業委員会制度(委員の公選制を任命制に見直し等)に基づく第23期農業委員会がスタートした。

8月
・足利市が県内で初めて『文化庁長官表彰(文化芸術創造都市部門)』を受賞した。

9月
・カスリーン台風による水害から70年を迎え、防災講演会などが行われた。

10月
・『夜景サミット』が開催され、あしかがフラワーパ

クが『日本三大イルミネーション』に認定された。
・足利市の魅力を市内外へ発信する『足利ミス織姫』が10年ぶりに誕生した。

・『足利市女性の職業生活における活躍の推進に関する計画』を策定した。

11月
・足利高校、足利女子高校の統合が決定された。
・松田川ダムふれあい広場で『星空とダムの映画館』を初開催し、200人超の観客が映画を楽しんだ。

12月
・6月に足利市と足利工業大学が覚書を取り交わした人工芝サッカー場の建設が着工された。

・伊勢神宮の社殿の一つを移築し、緑町の八雲神社が再建された。

2018年(平成30年)

1月
・公設地方卸売市場が民営化され『足利丸足地方卸売市場』がスタートした。

2月
◆冬季オリンピック・パラリンピック平昌大会でフィギュアスケート・羽生結弦さんが連覇を達成した。

・都市計画マスタープランを10年ぶりに見直した。
・観光都市を宣言した。

3月
・おしゃれな家具、雑貨などが並ぶ『門前マルシェ』を初開催した。

4月
・JR両毛線新駅『あしかがフラワーパーク駅』が開業した。

・足利赤十字病院跡地に足利大学本城キャンパスが開設された。
・栃木DESTINATIONキャンペーンがスタートし、6月までの期間中に180万人の観光客が訪れた。

5月
・栃木DESTINATIONキャンペーンの一環でJR両毛線にSLが走った。

・『あしかがアートクロス』を開催し、19の会場で芸術作品の展示会を実施した。

・草雲美術館で刀剣展『草雲と刀工たち』を開催し、草雲が愛でた刀『冬廣』など、ゆかりの刀を草雲作品と共に展示した。



◀平成29年7月・60年ぶりに巡行した葉鹿仲町祇園祭の屋台。

▼平成30年4月・栃木DESTINATIONキャンペーンに向け、SLが試験走行したときの様子。



▼平成29年9月・カスリーン台風慰霊祭



▼平成30年4月・あしかがフラワーパーク駅開業式典。



▲平成30年3月・門前マルシェ。



▼平成30年6月・人工芝の西部多目的運動場『あしスタ』が開場した。

▼平成29年12月・再建された緑町の八雲神社。



6月

- ・人工芝の西部多目的運動場『あしスタ』が開場した。
- ・空き家空き地バンクを開設した。

◆サッカー・ワールドカップロシア大会が開催され、日本はベスト8を逃すも、試合内容は高い評価を得た。

- ・姉妹都市のスプリングフィールド市長が足利市を訪問し、市議会本会議場で本市以外の市長として初めてスピーチを行った。

7月

- ・プロモーション動画『ありのままの足利を。』を公開した。
- ・市内で11日連続猛暑日を記録した。

10月

- ・足利灯り物語『夜の足利☆ナイトウォーク』を開催した。
- ・史跡足利学校で企画展『元号』を開催し、期間中に3万2,000人を超える入場者があった。
- ・『足利学び舎観光ロゲイング』を初開催した。
- ・あしかが映像まつり『聖地！西高学園祭』を開催し、3,200人が来場した。

11月

- ・わたらせテレビが開局20周年を迎えた。
- ・史跡足利学校 大成殿の改修工事が始まった。
- ・白旗橋の架け替え工事が完了した。

12月

- ・市議会のインターネット中継が始まった。
- ・「ひと」と「ひと」が輝くまちを宣言した。

2019年(平成31年、令和元年)

1月

- ・市が大型公共施設更新に向けた財政指針を公表した。

2月

- ・あしかが映像まつり『まちなかシネマDAYS』が開催され、3日間で延べ約1,250人が来場した。
- ・商工会議所友愛会館で刀剣展『堀川國廣とその高弟』が開催された。
- ・『あしかが輝き大使』に中華料理シェフ・薮崎友宏さんを委嘱した。

- ・NHKホールで行われた『第19回地域伝統芸能まつり』に八木節が出演した。

3月

- ・小俣最終処分場の訴訟が和解した。
- ・新医師会館が建設され、同建物に保健センターが移転した。

5月

◆改元し『令和』となった。

- ・改元日の5月1日の婚姻届提出が50件を超えた。
- ・40年ぶりに国・県・市合同で利根川水系連合・総合水防演習が実施された。

- ・旧足利西高校で撮影した作品が100作を超えた。

6月

- ・足利夏まつり(足利織姫神社ナイトウェディング・七夕まつり)が『第一回恋人の聖地地域活性化大賞 審査員特別賞』を受賞した。

- ・未来を担う子どもたちのために『足利市こども夢基金』を創設した。

7月

- ・2022いちご一会とちぎ国体の会場となるビーチバレーボールコートの一部が五十部運動公園内に完成した。

8月

- ・足利高校、足利女子高校統合に際し、市民会館用地を提供することを発表した。
- ・市議会がタブレット端末を導入した。

9月

- ・友好都市の済寧市(中国)と友好都市締結35周年を迎えた。

- ・五十部町競馬場跡地に渋谷スクランブル交差点のオープンセットが建設された。

- ・35回目の節目を迎えた薪能が記念事業として足利薪能と足利薪狂言を2夜連続で開催された。

- ・あがた駅南産業団地の造成が完了した。

10月

- ・朝倉・福富緑地『わたらせ健幸緑地』の供用を開始した。
- ・令和元年東日本台風が各地を襲い、本市も甚大な被害を受けた(被害総額88億円超、死者1名、中等症2名、住家被害845件)。

- ・水道庁舎が県庁足利庁舎に移転した。

- ・『全国足利氏ゆかりの会』総会が足利義兼公没後820年記念として開催された。

2020年(令和2年)

1月

- ・市民会館を取り壊し、跡地を足利高等学校・足利女子高等学校新校舎整備用地とすることで県と基本合意を締結した。

- ・第10回ロケーションジャパン大賞でドラマ『今日から俺は!!』と本市の取り組みが特別賞を受賞した。



◀令和2年10月撮影・あがた駅南産業団地。

▼令和元年東日本台風の被害の様子。



◀令和元年7月・ビーチバレーボールコートの一部が五十部運動公園内に完成した。

▼令和元年9月・足利薪能、足利薪狂言▼

